

(様式第2号)

会 議 録

令和7年8月19日作成

会 議 の 名 称		令和7年度第1回島本町特別支援委員会		
会 議 の 開 催 日 時		令和7年8月19日（火） 午後2時00分～午後2時30分		
会 議 の 開 催 場 所		島本町役場 1階 第一多目的室		
公 開 の 可 否		可・一部不可・不可	傍聴者数	0人
非公開の理由（非公開（会議の一部非公開を含む。）の場合）				
出 席 者	委 員	田中 美穂委員、中小路 隆裕委員、 藪田 香織委員長、山田 敏博委員、 加藤 崇副委員長、高崎 亮輔委員、 西島 恵理子委員、土屋 豊子委員		
	事 務 局	岡澤 潤教育推進課長、 原山 太郎教育推進課参事（庶務） 杉谷 久彌教育推進課参事（庶務）		
会 議 の 議 題		1 島本町特別支援委員会規則について 2 島本町特別支援委員会委員の委嘱に係る辞令交付 3 委員長及び副委員長の選出 4 島本町特別支援委員会の運営について 5 島本町の支援教育と就学相談の現状について 6 情報提供 7 今後の予定について		
決 定 事 項 等				
審 議 等 の 内 容		1 島本町特別支援委員会規則について （事務局）趣旨、組織、委員の任期等の確認。 2 島本町特別支援委員会委員の委嘱に係る辞令交付 （事務局）事前配布により、各委員で辞令書を確認。 3 委員長及び副委員長の選出（委員長：藪田委員、 副委員長：加藤委員） （委員長）「島本町審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、島本町特別支援委員会議も公開の対象になる。「島本町特別支援委員会の公開に関する要項」第3条により、会議の公開は委員長が傍聴		

を希望する者に許可することにより行う。なお、第2回の会議については、個人情報保護の観点から公開は行わないものとする。本日の傍聴者0名。

4 島本町特別支援委員会の運営について
(事務局) 配布資料「島本町特別支援委員会実務要領」「特別支援校内委員会実務要領」「特別支援審議資料」に沿って説明。

5 島本町の支援教育と就学相談の現状について
(事務局) 島本町の支援教育の現状について、説明。

配布資料「令和7年度島本町特別支援教育について」の内容を説明。全ての子どもが、障害のある子どもとの違いを対等な違いとして、互いを認め合い、子ども同士がつながることが重要である。子どもの個性や能力を最大限に伸ばし、自律し、社会参加ができるようなインクルーシブな学びの場の構築を目指していく。

今年度の支援教育における課題と方向性について、4点を挙げて説明。

今年度の支援学級の設置状況は、小学校が、知的障がい学級11学級、肢体不自由学級1学級、病弱・身体虚弱学級2学級、自閉症・情緒障がい学級15学級の合計29学級で、中学校は、知的障がい学級5学級、病弱・身体虚弱学級1学級、自閉症・情緒障がい学級6学級の合計12学級となっている。通級指導教室の状況について、町内全ての小中学校に通級指導教室が設置されている。また、令和7年度より、第一小学校及び第二小学校において、通級担当教員が2名から3名に増え、充実した体制整備が進んでいる。7月末現在、第一小学校通級指導教室に45名、第二小学校通級指導教室に42名、第三小学校通級指導教室に36名、第四小学校通級指導教室42名、第一中学校15名、第二中学校12名の児童生徒が通っている。定期的に「通級会議」を開催し児童生徒の状況や指導内容の把握している。今年度の就学相談の現状については、現在までに、教育委員会として85名の面談及び参観等を行った。その内訳は、幼稚園から9名、保育所、保育園、こども園から76名である。85名全ての保護者が就学相談票を提出されて、就学予定先の小学校において就学相談を進めている。また、中学校及び高校への進学相談も各小中学校で進めている。

6 情報提供
(事務局) 支援学級に在籍する医療的ケア対象児童

	の状況について報告。 7 今後の予定について （事務局）第2回の日程及び内容について説明。 令和7年12月初旬 午後3時から開催する予定。
配 布 資 料	・島本町特別支援委員会規則 ・令和7年度島本町特別支援委員会委員名簿 ・島本町特別支援委員会実務要領 ・特別支援校内委員会実務要領 ・令和7年度 支援教育に係る事務手続きについて ・就学相談票（様式1）（様式2） ・特別支援審議資料 ・就学相談に係るパンフレット ・令和7年度 島本町特別支援教育について